

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	《橋りょう維持補修事業》						担当部	都市建設部	
	会計区分	一般会計						担当課	道路課	
	事業期間	平成26年度以前			～			平成30年度まで		
	基本施策・展開方向	6 都市基盤		23 道路		3 橋りょうを計画的に管理します				
	予算区分	款	8	項	2	目	4	大	3	中
	根拠法令・個別計画	道路法								
	目的	何・誰を対象に	市民・道路利用者							
		どの様な状態にするのか	橋りょうの長寿命化修繕計画の策定など、計画的な維持管理を進め、橋りょう管理コストを縮減するとともに、安全性を向上させる。また、耐震設計を行い、耐震工事を行うことにより、震災時の緊急輸送、避難のための道路網を確保する。							
		内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期点検委託により橋りょうの現状を把握し、計画的な補修・耐震補強工事を行った。 職員は、委託、工事の設計積算及び施工管理を行う。 <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】</p> <p>測量設計業務委託 8橋 (委託料: 17,889千円) 北尾張3号橋外7橋 橋りょう定期点検業務委託 39橋 (委託料: 34,988千円) 高速道路交差橋りょう補修工事委託 3橋 (委託料: 58,922千円) (高根橋、桃花台第1橋、桃花台第4橋)(前年度繰越) 橋りょう清掃業務委託 1件 (委託料: 486千円) 跨線橋点検関連工事委託 3橋 (委託料: 1,626千円) 池田川1号橋外2橋</p> <p>【工事内容】</p> <p>重要橋りょう維持補修工事 4橋 (工事請負費: 88,781千円) 北尾張4号橋 郷西橋(翌年度繰越) 外堀新橋、藤ヶ丘2号橋(前年度繰越)</p> <p>高速道路交差橋りょう補修工事 3橋 (工事請負費: 47,803千円) 高根橋、桃花台第1橋、桃花台第4橋(前年度繰越)</p> <p>橋りょう補修工事 2橋 (工事請負費: 1,423千円) 巾下5号橋、城山橋</p> <p>【負担金内容】</p> <p>待合橋工事負担金 (負担金: 12,308千円) 【一般事務事業】 492千円</p> <p>◆29年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】</p> <p>橋りょう現況調査委託業務委託 45橋 (委託料: 12,000千円) 橋りょう清掃業務委託 1件 (委託料: 500千円) 測量設計委託 (委託料: 5,600千円)</p> <p>【工事内容】</p> <p>重要橋りょう補修工事 2橋 (工事請負費: 70,000千円) 常普請橋、郷西橋 その他の橋りょう維持補修工事 2橋 (工事請負費: 25,000千円) 高畑橋、池田川5号橋 【一般事務事業】 567千円</p>							
		受益者負担	無							

コスト	費用			単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額
		直接経費		千円	117,926	176,836	264,718	113,667
費用	正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
		人件費	千円	5,628	5,628	5,628	5,628	
	その他職員	従事者数	人					
		人件費	千円					
	費用合計	千円	123,554	182,464	270,346	119,295		
	対前年比	%		147.6	148.1	44.1		
財源	一般財源	千円	89,576	168,109	150,749	90,145		
	国・県支出金	千円	33,978	14,355	119,597	29,150		
	その他財源	千円						

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	橋りょう定期点検の実施箇所	橋	目標	251	146	80
実績				204	142	39	
	長寿命化修繕計画に基づく橋りょう補修工事数	橋	目標	—	5	4	2
			実績	—	5	4	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	5年ごとの橋りょう定期点検の実施箇所の割合	%	目標	45	70	90	91
実績			40.0%	68.0%	76.0%		
	累積耐震橋数	橋	目標	57(53)	62(56)	62(56)	66(56)
			実績	57(53)	62(56)	64(56)	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	重要橋りょうにおいては、橋りょうの長寿命化修繕計画に基づき、計画どおり事業は達成した。また橋りょう定期点検により補修が必要なその他の橋りょうにおいて補修工事を行い、安全確保に努めた。その他の橋りょうについては、今後の国や県の動向を把握しながら、補助金充当を検討していく。					
		事業実施における課題	橋りょうの塗装にPCBや鉛が含有している場合があるため、補修費の増大が懸念される。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	橋りょうにおける塗料の事前調査をすることにより、正確な予算の把握とコストを抑制した修繕方法を模索していく。重要橋りょう以外の橋りょう補修については、今後の国や県の動向を把握しながら、補助金充当を検討していく。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	1,885	千円	予算区分	15	節	節
	判定理由・削減内容	長寿命化修繕計画に基づき橋りょうの修繕を実施しているが、多額の費用が掛かる跨道橋(高速道路などに架かる橋)の修繕が完了したことに加え、平成26年度から実施している近接目視による定期点検の結果が良好であったため、修繕計画(10年計画をより長期計画に)の見直しも含め、事業を縮小しながらも適切な維持管理が可能だと考えている。						
	30年度以降の実施内容	定期点検結果を含め、より緊急の要する橋りょうを修繕していく。このため重要橋りょうにおける長寿命化修繕計画を定期的に見直して実施していく。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするとともに、引き続き効果的・効率的な事業実施に努められたい。